

2016年7月11日



## 疾病予防・健康寿命延伸に向けた京都大学等との共同研究への参加について

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)は、国民の健康寿命の延伸への貢献に向けて、国立大学法人京都大学を中心とした産学共同の研究会(※)に参加いたします。

### 1. 共同研究の概要

京都大学では、学内の学生・教職員などの健康診断結果を取得し、その後も生涯にわたり健康・医療情報やライフスタイルを追跡することで、時系列の個人の健康・医療・介護データ(Personal Health Record、以下「PHR」)を形成し、それを活用した健康寿命の延伸に寄与するビジネスモデルの創出に関する研究を行っています。

個人のヘルスケア情報は、医療機関や企業、健康保険組合などに点在しています。これらの情報を、個人で、生涯にわたりデータベースで一元的に管理・活用していく仕組みがPHRであり、これを活用することができれば、自身の健康状態を継続的に把握できるようになり、健康増進に役立てることができます。

本共同研究では、PHR 形成に向けた課題、PHRを活用した事業の実現に向けた課題を抽出し、解決策を探るとともに、永続的運営が可能なビジネスモデルの構築を目指します。

### 2. 共同研究の背景

健康・医療分野は、IT 化の進展、データの利活用などを通じてさらなるイノベーションが期待されています。時系列の健康関連データの集積が進めば、疾病履歴と個人ごとの健康情報・ライフスタイルの変化などとの関係を研究することで、医学の発展にも寄与する取組みとして注目されています。例えば、本共同研究により、将来的に個人ごとの健康維持に繋がるライフスタイル改善指導などが可能となり、疾病予防や健康寿命の延伸に貢献できる可能性があります。

### 3. 当社の参画意義

当社グループの持つ健康・医療関連情報のコンテンツなどを活用することで、PHR構築に有効なスキームやその利活用に向けた新たなビジネスモデルの検討を支援していきます。また、本共同研究で得た健康・医療情報を今後の健康増進に繋がる新しい商品・サービスの開発や保険加入時の引受基準拡大の検討などに活用していきます。

当社では、保険ビジネス(Insurance)とテクノロジー(Technology)の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する取組みを“InsTech”と銘打ち、最優先の戦略課題として、グループ全体で推進しています。InsTech の推進に向けては、他業態とのコラボレーションを追求しており、本共同研究はInsTechの取組みの一環です。今後も、お客さまの一生涯に寄り添った「確かな安心」と「充実した健康サポート」のご提供を更に強化すべく、生命保険事業のイノベーション創出に向けた取組みを進めていきます。

以上

※ 京大データヘルス研究会の参画企業

国立大学法人京都大学、第一生命保険株式会社、株式会社リクルートホールディングス、オムロンヘルスケア株式会社、メドピア株式会社